

マンションのこと みんなでなんでも話し合ってみよう

連続座談会ニュース 第 76 回

板橋マンション管理組合ネットワーク

マンションの耐久性の考え方



講師の奈良利男氏

◆鉄筋コンクリートの耐久性は半永久的

コンクリートの強度は何年経ってもほとんど変化なく、問題は鉄筋の錆びであり、鉄筋コンクリートの耐久性は、鉄筋がどの程度錆びるか、で決まります。

◆鉄筋発錆の原因

昭和 3 年（90 年前！）にコンクリートの中酸化速度実験式の論文が発表されているが、その注意点として

〔 i 仕上げ材の種類でまったく異なる結果になる
2 屋内では錆の進行がこれまた、まったく異なる結果となる 〕
が挙げられています。

◆現存する最古の「三井物産横浜ビル」を調べてみると…

このビルの室内の中酸化深さが鉄筋位置より深く進行していても、鉄筋はまったく発錆していなかった→コンクリート中の鉄筋は大気中の水分では錆びない。

鉄筋中の錆はコンクリートの中酸化だけでは生じない→「雨水の侵入」で生じる。
ということがわかりました。

（奈良氏の資料より）



昭和 45 年開催の大阪万博

この一大イベントで、ひととき異彩を放っていたのが岡本太郎作の「太陽の塔」でした。

この建設に奈良氏は昭和 43 年、弱冠 25 歳からかかわりました。

この「太陽の塔」は現在も万博記念館に保存されています。

この開催時、宇宙船アポロが持ち帰った「月の石」がアメリカ館で展示され、人気を呼びました。

（我々の世代としては 懐かしいです）



いたかんネット

